



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台研究教育職員

1. 助教1名
2. (1) 選考後に決定 (2) 選考後に決定
3. 天文学
4. 国立天文台は日本の天文学のナショナルセンターとして、現在15のプロジェクト等を推進しながら、研究を行っています。
ついては、理論・観測あるいは機器開発など分野は問わない公募を行います。
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期
(2) なし（5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動させることがあります）
6. 大学院博士課程修了またはそれと同等以上の女性
7. (1) 履歴書、(2) 論文リスト、(3) 研究業績、(4) 研究計画書（国立天文台で希望する所属先と、そこでどのような研究・開発・業務を行いたいかを明確に記述してください）、(5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先、(6) e-mailアドレス
8. 2013年12月10日(火) 必着
9. (1) 応募書類、推薦書とも
appl_femaleassociate20131210@nao.ac.jpへメール添付で送付
(2) 国立天文台副台長（総務担当） 渡部潤一
e-mail: jun.watanabe@nao.ac.jp
10. ・すべての応募書類（上記7. の(1)～(6)）は

それぞれPDFファイルに変換し、メールに添付すること。

ただし、各書類をまとめて一つのPDFファイルにしたり、また、ZIPファイルに入れたり圧縮したりしないこと。

- ・PDFは解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにすること（10MB程度まで）。
- ・応募書類が受理されると確認のメールを送るので、それが届かない場合には、appl_femaleassociate20131210@nao.ac.jpへお問い合わせください。
- 11. ・選考は国立天文台運営会議で行います。
・自然科学研究機構国立天文台は男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。

詳しくは<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokuyodo/>をご覧ください。

平成26年度国立天文台プロジェクト研究員 (年俸制特任研究員)

英語版は<http://www.nao.ac.jp/en/about-naoj/recruit.html>をご参照ください。

(共通事項)

1. 年俸制特任研究員 募集人員は個別事項に記載
2. 今回募集を行うプロジェクト等およびその勤務地は個別事項をご覧ください。複数のプロジェクトへの併願は可能ですが、希望する順を書いてください。最終的にプロジェクト等から選考委員会へ推薦される候補者は、プロジェクト間で重複しないように調整されます。
3. 募集分野は個別事項に記載
4. 勤務時間の半分までは、所属するプロジェクト・センター等の長と相談のうえで、所属プロジェクト等の業務を行う義務があります。職務内容の詳細は個別事項に記載。
5. (1) 平成26年4月1日以降、ただし平成26年9月30日までには着任しなければなりません。

(2) 原則として着任日より3年間ですが、年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。ただし、平成16年4月以降、既に国立天文台研究員として勤務した期間がある場合は、通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。また、着任前6カ月以内に自然科学研究機構職員であった場合の任期は、平成25年4月1日からの雇用期間の通算が5年を超えないように設定されます。

再任は、個別事項に述べられている場合を除き、審査のうえ、1回に限り可能です。ただし再任後の任期は半年以上2年以下で、通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。

6. 博士の学位を取得した者または平成26年3月31日までに取得見込みの者。なお、平成26年9月30日までに取得見込みの者は、その旨を記載のこと。
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト(査読論文と、その他を区別し、共著論文の場合は著者名をすべて明記すること)、(4) 主要論文3編以内のPDFファイル、(5) 研究計画書、(6) 推薦書を頼む場合は、推薦者の名前(2名以内)。推薦書は推薦者が応募締め切りまでに提出先へ送ること。
8. 平成25年11月15日(金) 正午(日本時) 必着(個別事項に別の指定がある場合を除く)
9. 提出先メールアドレス、問合せ先は個別事項に記載。
10. 応募書類が受理されると確認のメールを送るので、それが届かない場合は指定の問合せ先に連絡すること。
11. 裁量労働制の常勤職員として月額30万円の給与および通勤手当、年間50万円の研究費が支給されます。着任のための旅費・移転費も支給します。米国ハワイ州外よりハワイ観測所(ハワイ州ヒロ市)に着任する場合、またはチリ共和国外よりチリ観測所(サンチャゴ市)に着任する場合には、各々ハワイ手当、チリ手当相当額を加算し、月給は52万円となります。健康保険、年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。科学研究費助成事業への応募資格があります。

国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは

<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください。

(個別事項)

○野辺山宇宙電波観測所

1. 募集人員：1名
2. (2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山(ASTE用カメラ開発の場合、チリへの長期出張もありうる)
- 3,4. 野辺山宇宙電波観測所の45m電波望遠鏡に搭載する観測装置開発・運用またはチリ観測所のASTE望遠鏡に搭載する観測装置開発などを行いながら、自身の観測的または開発的研究を推進する若手研究者を求めます。観測所の業務については、特に45m鏡の新観測システム(新世代の受信機、分光計、解析ソフト)の開発やASTE用の連続波カメラの開発が重点課題です。希望する業務があれば、関連するこれまでの開発研究の経験とともに研究計画書に記述してください。
9. (1) 応募書類、推薦書とも nario.kuno@nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。
(2) 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2 国立天文台野辺山宇宙電波観測所長 久野成夫
Tel: 0267-98-4331
e-mail: nario.kuno@nao.ac.jp

○太陽観測所

1. 募集人員：1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3,4. 太陽観測所では、三鷹キャンパスにおいて太陽フレア望遠鏡をはじめとする観測装置群により太陽の活動と磁場の継続的な観測を行っており、それに基づいた太陽・太陽圏科学の研究を推進しています。研究員は自らのアイディアによる研究を推進する一方、装置運用、装置開発、データの解析と公開にも加わっていただきます。また地上太陽観測の将来計画の検討を行っており、積極的に加わる意欲のある人材を求めます。
9. (1) 応募書類、推薦書とも jinji@solar.mtk.nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台太陽観測所長 花岡庸一郎
Tel.: 0422-34-3703
e-mail: hanaoka@solar.mtk.nao.ac.jp

○ハワイ観測所

1. 募集人員：1名
2. (2) ハワイ観測所（米国ハワイ州ヒロ市）。ただし三鷹への出張による業務も複数回ありえます。
- 3,4. ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用を実施し、多様な天文学研究を進めるとともに、新装置の開発や将来計画の検討を進めています。すばる望遠鏡を用いた観測研究や装置開発研究を積極的に進める研究員を募集します。研究員には、自身の研究を進めるのみならず、すばる望遠鏡ならびにケック望遠鏡、ジェミニ望遠鏡等を用いた、ハワイ観測所スタッフとの共同研究も積極的に促進していただき、観測所のサイエンティフィックアクティビティ向上の一端を担っていただきます。加えて、マウナケア山頂（標高4,200メートル）での業務も含め、科学運用に関する観測所の業務の一部も担当していただきます。研究計画書には、自身の研究計画とともに、観測所での研究活動や観測所業務に対する抱負も記述してください。業務内容や待遇の詳細などは、下記の間合せ先までお尋ねください。
7. 評価者2名に評価書の送付を依頼してください。
8. 平成25年12月2日(月) 正午（ハワイ時）必着（日本時12月3日(火) 午前7時）
9. (1) 応募書類、評価書とも
fellow2014apply@naoj.orgへメール添付で送付のこと。メールサブジェクトにプロジェクト研究員応募と書いてください。
- (2) Director Nobuo Arimoto
Subaru Telescope, NAOJ
650 North A'ohoku Place, Hilo Hawaii 96720 U.S.A.
Tel: 01-808-934-5900
e-mail: arimoto@naoj.org

○チリ観測所

1. 募集人員：2名
2. (2) 東京都三鷹市（ただしチリ、欧州、北米、台湾等に出張の可能性があります）
- 3,4. ALMAは、現在サイクル1科学運用が行われており、2014年にはサイクル2に進む予定です。ALMAなどを用いた研究を推進していただくために、研究員を募集します。研究員には勤務時間の50%を用いて、ALMA、またはチリ観測所が運用しているASTE望遠鏡、Mopra 22 m電波望遠鏡などを用いて自身の研究を推進していただき

ます。勤務時間の残りの50%を業務にあて、これらの望遠鏡の運用の支援（共同利用支援）、ALMAの科学評価データの解析（論文執筆を含む）、またはALMA、ASTEに関する開発（装置、ソフトウェア）、のうちの一つ以上を行っていただきます。

7. 応募書類は英文で書いてください。推薦者2名に推薦書の送付をお願いしてください。
8. 平成25年12月2日(月) 正午（日本時）必着
9. (1) 応募書類、推薦書とも
tetsuo.hasegawa@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。メールサブジェクトに「プロジェクト研究員応募（または推薦書）」と明記してください。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台チリ観測所 立松健一
e-mail: k.tatematsu@nao.ac.jp

○天文データセンター

1. 募集人員：1名
- 2 (2) 東京都三鷹市
- 3,4. 国立天文台天文データセンター（ADC）が運営するSMOKA (<http://www.smoka.nao.ac.jp/>)では、すばる望遠鏡や岡山天体物理観測所188 cm望遠鏡、東京大学木曾観測所シュミット望遠鏡、東京工業大学MITSuME望遠鏡群、広島大学東広島天文台かなた望遠鏡の観測データを公開し、天文学研究や教育活動を推進しています。また、近い将来にはHyperSuprimeCAMからの生データ公開も予定しています。本研究員には、SMOKAの効率的運用を進めるとともに、データの品質評価や校正に積極的に取り組み、自らもそのデータを活用した天文学研究を進める意欲をもった若手研究者を求めます。また、2013年3月に稼働を開始した新計算機システムのうえでSMOKAのさらなる機能強化や効率化を目指す開発にも携わっていただきます。
9. (1) 応募書類、推薦書ともadc-chief@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台天文データセンター長 大石雅寿
Tel: 0422-34-3575
e-mail: masatoshi.ohishi@nao.ac.jp

○TMT推進室

1. 募集人員：2名以内
2. (2) 東京都三鷹市

3,4. TMT推進室では、日本・米国・カナダ・中国・インドの5カ国協力事業としてハワイ島マウナケア山頂域に口径30mの光学赤外線望遠鏡TMTの建設を推進しております。TMT推進室では以下の職務を担当する研究員を募集します。

(a) TMT計画推進の業務を一部担当していただきます。その主な内容としては、日本の科学的貢献としても重要なものとなる観測計画立案のためのツールの開発（露出時間計算等）、ウェブなどの計算機サーバー運用支援、各種研究会やユーザーズミーティングの支援、広報活動への参画などです。(b) 日本で製作を行う第一期観測装置(IRISまたはMOBIE)の開発を担当していただきます。主な内容は、性能評価シミュレーション、仕様策定と設計への貢献、主要要素のプロトタイプ製作と評価、サイエンスの検討、観測装置開発の国際チーム会議への参加などです。自身の研究計画と共に、これらの業務に対する抱負や貢献の可能性を記述してください。

9. (1) 応募書類、推薦書とも m.iye@nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。
 (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
 国立天文台TMT推進室 家 正則
 Tel.: 0422-34-3520
 e-mail: m.iye@nao.ac.jp

○太陽系外惑星探査プロジェクト室

1. 募集人員: 1名
 2. (2) 東京都三鷹市

3,4. 太陽系外惑星の観測的研究、とりわけ、地上・スペース観測のための観測装置やミッション、および、それらによるサイエンスの検討・推進に参加する若手研究者を期待しています。本プロジェクト室の現在の具体的な研究テーマは、(a) すばる望遠鏡のための系外惑星観測装置Hi-CIAOを用いた研究、(b) すばる望遠鏡のための系外惑星赤外線分光器IRDやCHARISの開発、(c) TMTのための系外惑星観測装置SEITの開発、(d) 系外惑星スペースミッションの開発・推進です。公募する研究員の方には、(b) の装置立上げ、および、(a, b) による観測・研究推進にも参加していただく予定です。勤務地は三鷹ですが、現地調整・観測等のためのハワイ観測所等への出張があります。

9. (1) 応募書類、推薦書とも motohide.tamura@nao.ac.jp へメール添付で、件名を「プロジェクト研究員」として送付の

こと。

- (2) 太陽系外惑星探査プロジェクト室・室長
 田村元秀
 e-mail: motohide.tamura@nao.ac.jp

○SOLAR-C準備室

1. 募集人員: 1名
 2. (2) 東京都三鷹市

3,4. SOLAR-C準備室では、宇宙科学研究所 (ISAS/JAXA) と協力して、次期太陽観測衛星SOLAR-Cの実現を目指しています。(a) 次期太陽観測衛星「SOLAR-C」(<http://www.nao.ac.jp/project/solar-c.html>) の開発研究 (関連する理論的研究を含む)、(b) 観測ロケット搭載のChromospheric Lyman-Alpha Spectro-Polarimeter (CLASP; <http://hinode.nao.ac.jp/KakenS/study-CLASP.shtml>) の開発研究 (関連する理論的研究を含む) のいずれか (複数でも可) に積極的に参加する研究員を求めます。また、「ひので科学プロジェクト」(http://hinode.nao.ac.jp/index_e.shtml) との連携研究を進めるため、研究員には「ひので」の科学運用 (観測) にも参加していただきます。

9. (1) 応募書類、推薦書とも hirohisa.hara@nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。
 (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
 国立天文台 SOLAR-C準備室長 原 弘久
 Tel: 0422-34-3705
 e-mail: hirohisa.hara@nao.ac.jp

国立天文台 SOLAR-C 準備室研究員

1. 年俸制研究員 (科研費基盤研究S) 1名
 2. (1) 国立天文台SOLAR-C準備室
 (2) 東京都三鷹市
 3. 太陽物理学および飛翔体天文学
 4. 文部科学省科研費基盤研究(S) 採択課題「太陽コロナ・彩層加熱現象に迫る一ひので・IRIS・CLASPからSOLAR-Cへ」(研究代表者: 常田佐久 [JAXA/宇宙研], 研究分担者: 勝川行雄 [国立天文台]) による研究計画を推進する人材を募集します。2013年に打ち上げられたNASA・Interface Region Imaging Spectrograph (IRIS) 衛星データを使った彩層・コロナの研究を推進するとともに、紫外観測ロケット実験搭載装置Chromospheric Lyman-Alpha SpectroPolarimeter (CLASP) の装置開発もしくは取得されるデータ

を活用した科学成果創出に従事して頂きます。これらで得られた知見を活かして、次期大型太陽観測衛星 (SOLAR-C) 計画の実現にむけて積極的に取り組む意志と能力を有する人材を求めます。

5. (1) 平成26年4月1日以降
- (2) 任期: 原則として着任日より3年間ですが、年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。ただし、平成16年4月以降、既に国立天文台研究員として勤務した期間がある場合は、通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。再任について、個別事項に述べられている場合を除き、審査のうえ、1回に限り可能です。ただし再任後の任期は平成30年3月31日までで、通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。
6. 博士の学位を取得した者または平成26年3月31日までに取得見込みの者、もしくはそれと同等以上の者。なお、平成26年3月31日までに取得見込みの者は、その旨を記載のこと。
7. 応募書類は返却しませんので、写しで構いません。
 - (1) 履歴書 (現在のE-mailアドレスを必ず記入し、写真を添付のこと)
 - (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む)
 - (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別すること)
 - (4) 主要論文3編以内のpdfファイル
 - (5) 研究計画書
 - (6) 推薦書を頼む場合は、推薦者のお名前 (2名以内) と連絡先
 - (7) 推薦書は応募締め切りまでに推薦者が直接9 (1) の送付先まで送ること
8. 平成25年11月29日 (金) 17時 (JST) 必着
9. (1) 応募書類、推薦書とも
hirohisa.hara@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 SOLAR-C準備室長 原 弘久
Tel: 0422-34-3705
E-mail: hirohisa.hara@nao.ac.jp
参考情報: <http://hinode.nao.ac.jp/KakenS/>
(本研究課題のホームページ)
10. 裁量労働制の常勤職員として月額30万円の給与および通勤手当、年間50万円の研究費が支給されます。着任のための旅費も支給します。健康保険、年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はあり

ません。科学研究費補助金の応募資格がありません。

11. 国立天文台は男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは
<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokkyodo/> をご覧ください。

賞の推薦

山田科学振興財団 2014 年度研究援助候補推薦依頼

山田科学振興財団より本会宛に、下記内容の2014年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。推薦書は学会推薦となっておりますので2014年1月26日 (日) までに日本天文学会宛 (jimu@asj.or.jp) に添付ファイルとして提出してください。

1. 研究援助趣旨
 - 1) 萌芽的・独創的研究
 - 2) 新規研究グループで実施される研究
 - 3) 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
 - 4) 国際協力研究
2. 援助対象期間

2014年9月～2016年3月

★2014年度研究援助候補推薦要項・推薦書用紙は下記ホームページからダウンロードして下さい。

山田科学振興財団 <http://www.yamadazaidan.jp/>

研究会・集案案内

シンポジウム 高校で学ぶべき「サイエンス」とは?

一次期学習指導要領での必修理科科目の中身を描く―

- 日 時: 11月9日 (土) 15:30～17:00
 会 場: 日本科学未来館7階 みらいCANホール (300名)
 主 催: 日本学術会議
 共 催: 独立行政法人日本科学技術振興機構 (予定)、日本科学教育学会、一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会、公益社団法人日本天文学会、日本地学教育学会
 概 要: 国民の科学技術リテラシーの育成、理工系人

材の確保や浮きこぼれる科学好き生徒のフォローアップはこのままでよいのだろうか。本シンポジウムでは、日本の中等教育が抱える課題の解決に向けて、日本学術会議をはじめ関係機関・団体が横断的に議論を始めるためのキックオフイベントである。次期学習指導要領改訂に向けて、高校生全員必修の高校理科共通科目の可能性とその中身について多角的に議論したい。

文系の高校生にとっても魅力的かつエッセンシャルな「サイエンス」とは？科学技術立国として必要な科学力とは？今回は特に、東日本大震災と福島原発事故を再考し、防災教育としての地学分野および放射線やエネルギーに関する物理分野をも含む国民全員にとって必要不可欠なサイエンス・リテラシーとは何か、さらに、それをいつどのように修得させていくのかを検討する予定である。

プログラム：

1. 主催者あいさつ
柴田徳思：日本学術会議連携会員，公益社団法人日本アイソトープ協会
2. 講演 25分（質疑応答込み）
文部科学省初等中等局より
田代直幸（教科調査官）
日本科学教育学会より
小川正賢（東京理科大教授）
3. パネルディスカッション
 - (1) 田代直幸（文部科学省）
 - (2) 小川正賢（日本科学教育学会）
 - (3) 宮嶋 敏（日本地学教育学会，埼玉県立深谷第一高等学校教諭）
 - (4) 下山佳那子（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程2年）
 - (5) 渡辺政隆（日本学術会議連携会員，筑波大学教授）
 モデレーター 縣 秀彦（国立天文台）

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）**vol98**（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光（編集長），市来浄與，大栗真宗，勝川行雄，富永 望，平松正顕，廣田朋也，馬場 彩，前野将太，町田正博，吉田二美

平成25年10月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価700円（本体667円）発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2013年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）